

氏名 鈴木 聡 ()				
研究分野		所属学会等の名称		
鍼灸医療機器の開発、美容鍼灸、統合医療		全日本鍼灸学会、東方医学会、世界中医薬学会連合会美容分会		
担当授業科目名				
耳鼻咽喉科鍼灸学、美容鍼灸学、リハビリテーション科鍼灸学、皮膚科鍼灸学、眼科鍼灸学、歯科鍼灸学、麻酔科学				
教育上の能力に関する事項				
事項	年	概要		
1 教育の実践例、教育に関する評価等 臨床鍼灸学における臨床例紹介の実践例 視聴覚教材工夫の実践例 授業内容の確認度の把握と、発言力向上の実践 その他 6 件	2005-現在 2005-現在 2005-現在	中国では各種疾患に幅広く鍼灸が応用されており、8年の中国留学で直面した多種疾患を挙げている。 鍼灸治療効果を客観的に理解できるよう、動物実験ビデオ映像を用いている。 受講生を適宜指名し、授業に関連した各種国家試験過去問題を質問し、起立で考え回答させている。		
2 作成した教科書、教材、指導書等				
3 教育実践に関係がある実務経験・委員・講師等 国際中医師・鍼灸医師能力認定制度試験翻訳 広東薬科大学における特別講義 予防医療臨床研究会「医師専門鍼灸講座」 その他 6 件	2002 2007 2008	中国政府及び世界保健機構（WHO）が主催する国際中医師・鍼灸医師能力認定制度試験問題の鍼灸医師及び按摩推拿医師認定試験問題の日本語への翻訳を行った。 中国広東省にある広東薬科大学において、「日本漢方医学の情況」と題し、日本漢方と中医薬の相違や日本漢方の研究や市場の状況について分かりやすく中国語を用いて講義した。聴講人数約 300 名。 「美容鍼灸と東洋医学」と題し、東洋医学の概要や美容鍼灸に関する歴史、理論、方法などを講演した。さらに具体的な美容鍼灸方法として美容針による実技指導を行った。参加者医師 15 名。		
職務上の実績（学術団体や社会等における活動）に関する事項				
事項	年	概要		
1 資格、免許、特許、受賞等 はり師、きゅう師免許 高級薬膳師	1996 2008	厚生労働省 The People's Republic of China Commercial Profession Certificate		
2 学術・社会活動上の・委員・講師・実務経験等 全日本鍼灸学会中部支部学術委員 全日本鍼灸学会学術総会三重大会事務局次長 第 5 回国際伝統医学美容学術大会大会学術委員会主任 その他 3 件	2010-現在 2010-現在 2010	認定指定研修講座の企画と運営を行っている。 2012 年開催予定の三重大会事務局次長として、各委員会の総括を行っている。 第 5 回マレーシア大会の投稿論文のうち主に日本と中国の論文査読を行い、また日本事務局として大会運営に関わった。		
研究業績等に関する事項				
著書名、報告書名等	単・共著の別	発行年	発行所等の名称	著者名・ページ数等
(著書) 1. 中国医学体感ガイドブックー中国に留学、旅行したい人のための 2. 美容と鍼灸	共著 共著	2005 2006	医道の日本社 医道の日本社	pp34-63、79-85、115-118、122-123。 pp102-107

<p>(報告書等)</p> <p>1. 世界鍼灸学会連合会マレーシア国際鍼灸シンポジウム報告</p> <p>2. 統合医療の科学的評価法開発及び臨床指針作成</p> <p>3. 高周波を用いた日本初の温熱針システムの開発</p> <p>その他 3 件</p>	<p>単著</p> <p>共著</p> <p>単著</p>	<p>2006</p> <p>2008</p> <p>2010</p>	<p>全日本鍼灸学会雑誌</p> <p>文部科学省</p> <p>文部科学省</p>	<p>鈴木聡・Vol. 56、No. 5、pp828-832、2006.</p> <p>森和、他・科学技術振興調整費報告書</p> <p>鈴木聡・科研費報告書</p>
<p>学術論文 学会発表等の題名</p>	<p>発表者名</p>		<p>発表誌名・巻・ページ・発表年等 学会名・発表年・開催都市名等</p>	
<p>(学術論文)</p> <p>1. 高周波を用いた温熱鍼システムの開発 - 高周波によるディスプレイステルス鍼の鍼尖周囲の加温について</p> <p>2. 劉完素と鍼灸</p> <p>3. 美容鍼灸への科学的アプローチ-SBH 美容健康法の内臓脂肪、加齢に及ぼす効果-</p> <p>その他 21 篇</p>	<p>鈴木聡</p> <p>鈴木聡</p> <p>木田 匡美、渭原 梢、西坂 才子、他 6 名 (7 番目)</p>		<p>東方医学、Vol. 25、No. 4、pp1-9. 2010</p> <p>東方医学、Vol. 25、No. 3、pp49-53. 2010</p> <p>東方医学、Vol. 25、No. 2、pp9-17. 2009</p>	
<p>(学会発表等)</p> <p>1. Japanese Style Cosmetology Acupuncture(Facial Acupuncture)</p> <p>2. Effects of SBH Aesthetic Health Promotion Therapy on Visceral Fat and Anti-Aging</p> <p>3. A Study on Objectification of “Blood Stasis”: Interface between Aesthetic Acupuncture and Integrative Medicine</p> <p>その他 30 篇</p>	<p>Takeshi Kitagawa, Naoko Kitagawa, Kazu Mori, 他 1 名 (4 番目)</p> <p>Masami Kida1, Kozue Ihara, Saiko Nishizaka, 他 4 名 (7 番目)</p> <p>Kazu MORI, Wenping Zhang, Satoshi Suzuki, 他 2 名</p>		<p>The 5th International Symposium on Traditional Medical Cosmetology. 2010. マレーシア</p> <p>The 5th International Symposium on Traditional Medical Cosmetology. 2010. マレーシア</p> <p>The 5th International Symposium on Traditional Medical Cosmetology. 2010. マレーシア</p>	
<p>(その他)</p> <p>1. 中国最新レポート-「国医堂」でフェイシャルトリートメントが施されていた</p> <p>2. 美容鍼灸-教育と可能性</p> <p>3. 鈴鹿医療科学大学「臨床鍼灸学」講座から 臨床に役立つ治療のヒント 関節リウマチに対する鍼治療</p> <p>その他 7 篇</p>	<p>小熊亮子、北川毅、鈴木聡</p> <p>東郷俊宏、鈴木聡</p> <p>鈴木聡</p>		<p>セラピスト、2003 年夏 Vol. 8、32-33. 2003</p> <p>医道の日本、Vol. 65、No. 4、35-38. 2006</p> <p>医道の日本、Vol. 67、No. 3、85-90. 2008</p>	